

## P T A 活動報告 「第 1 3 回広島県の教育を考える会」

先日、標記の会合に参加しました。実施概要と気付いた点等をご報告いたします。

【日 時】 平成 19 年 12 月 2 日(日) 13:00~16:30

【会 場】 広島県民文化センターホール

【主 催】 広島市 P T A 協議会

【主 管】 (社)広島県教育会、日本教育会広島県支部

- 【プログラム】
1. 開会行事
  2. 講演 「時代の変化に対応した学校・町づくり」  
千葉大学教授、中央教育審議会スポーツ・青少年分科会臨時委員  
明石要一氏
  3. シンポジウム 「子どもたちの成長のために、  
学校・家庭・地域は何をすればよいか」
  4. 閉会行事

【参加者】 河野校長、三浦教頭  
川崎会長、山田副会長、古田副会長、二宮会計、陶山監査 計 7 名

### 【報 告】

＜講 演＞ 明石先生の講演では、時代の変化や子どもを取り巻く環境の変化とそれらへの対応について先生の経験則や統計結果をもとに大変参考になるお話をいただきました。

#### ① 「じゃんけんゲームに見る女性の行動特徴」

- 1) ゲームをした時に親指が人差し・中・薬指のうえに来る人  
社交的、明るい、いつでもハッスルして頑張り屋、恋愛結婚多い、世話好きで本日来場の P T A に多い
- 2) ゲームをした時に親指がその他に指の内側に来る人  
内向的、良妻賢母、広報誌作成など得意、友人少ない、お見合い結婚多い
- 3) ゲームをした時に親指が人差し指の横腹の上に来る人  
知的能力高い、情報集能力高い、  
さまざまなタイプがあるが、違うタイプと一緒に作業するところにいろいろな発見や気づきがあり、いい仕事ができる。

## ②「地域性の話」

中央（東京）からの情報について、敏感な都市「札幌、福岡（博多）、熊本」、アンチな地域「大阪、名古屋」。アンチということは、逆に自分たちの文化や価値観を持っている。

日本の中の標準を知ることのできる都市「静岡県東部、広島」、商品開発時に市場調査として先行販売を実施する地域。

## ③「時代が変わった、それを知るキーワード」

### 1) 2008年には、大学全入時代が来る。

大学名と地域を選ばなければ、すべて期大学進学希望者は大学に入れる定員。少子化による人口減と大学数、定員数の不釣り合い。

### 2) 地域が変わった。

例えば、運動会当日の実施合図の花火。ある地域では朝早くからうるさいという苦情が来る。かたや鳴らしてくれないと実施の有無が確認できないと苦情が来る。一昔前と違って学校が常に周りに気を遣いながら運営する必要がでてきた。

### 3) 親が変わった（新人類）

現在子育てしている親は、47歳以下の新人類である。大学入試で共通一次が始まった最初の受験者、マークシート元年。その特徴(1)学校を尊敬しない(2)勉強道具を大切にしない（鉛筆をくるくる回す。この世代以降しかできない。教科書無償配付になったので、教科書にマーカーする、記入する。それ以前は有償のため兄弟で大事に使い回していた。）(3)カラーテレビが普及しているので、夢をカラーで見る(4)以前のゆったりとした短調からアップテンポな長調の子守歌で育った。こんにち赤ちゃんに代表されるリズムカルな音楽(5)

### 4) 最近の子はスーパー新人類

#### 特徴1. 食べっぷりが悪い

間食が多いたら食い、スナック菓子や清涼飲料水が好き、30分も腹持ちしない。羊羹、おかき、まんじゅうというおやつで腹持ちするものを好まない。

#### 特徴2. 遊びっぷりが悪い

友達大勢で家で誕生会などをするも、遊ぶときは2.3人に分かれてゲームしたり、漫画読んだりとそれぞれが勝手なことをしている。遊び体験がないので集団の言い出しっぺ、リーダーがいない。

#### 特徴3. 付き合いっぷりが悪い

兄弟が少なく自己を抑制してまで相手に合わせることを嫌う。自分の時間や趣味、主張を大事にする。

### 5) テストに対する取り組み姿勢の変化

取り組み姿勢として、(1)まとめノートを自分で作ってする(2)一夜漬け(3)出題

の山をはってそこだけする(4)勉強しない。の四タイプがありますが、今の中学2年生では、(4)が一番多い、次いで(1)(2)(3)。今の親の時代では考えられない。学生は勉強するのが仕事という自覚が欠如している。

④「みんなで自信をもっていこう」

家風を大切に ……家では自分たちの家や家族自慢をして、誇りを持とう。

校風自慢 ……自分たちの学校に誇りを持ち、よりよい学校に変えてていこう。

地域カラー町自慢をしよう ……その地域が持ついいところを大切にしていこう。

<シンポジウム>

|          |                |    |       |
|----------|----------------|----|-------|
| コーディネーター | 広島大学大学院総合科学研究科 | 教授 | 浦 光博氏 |
| シンポジスト   | 安芸郡海田町立海田南小学校長 |    | 宮浦正明氏 |
|          | 広島市立牛田中学校長     |    | 湯浅克廣氏 |
|          | 広島県立広島井口高等学校長  |    | 金岡俊信氏 |
|          | 広島市PTA協議会会長    |    | 尾崎公幸氏 |

地元の実態にそった具体的な提言や実践についての活発な検討が行われました。

以 上